

テーマは「林業産出額（令和6年）」



東北の林業産出額は 731 億 1 千万円

東北の林業産出額（令和6年）は731億1千万円で、前年の726億9千万円から4億2千万円（0.6%）増加しました。これは主に、栽培きのご類が増加したためです（図1）。

注：「都道府県別林業産出額」は、都道府県を推計単位とし、品目ごとの生産数量に木材生産は、樹種ごとの年間平均山元土場価格*、木材生産以外は庭先販売価格（消費税を含む。）を乗じて推計したものです。

*山元土場価格とは、素材（丸太）の立木の市場価格から市場手数料、運賃等を控除した金額です。

また、「生産林業所得」は、林業産出額から物的経費を控除し求めたものです。

東北の林業産出額は、各県の産出額を公表単位（千万円）で積み上げたものです。

表示単位未滿を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

図1 林業産出額及び生産林業所得の推移（東北）

注：生産林業所得は、林業産出額から物的経費を控除したもので、林業産出額に林業経営統計調査等で把握された所得率を乗じて算出していたが、平成27年以降、所得率の把握が取り止められたことから作成していない。

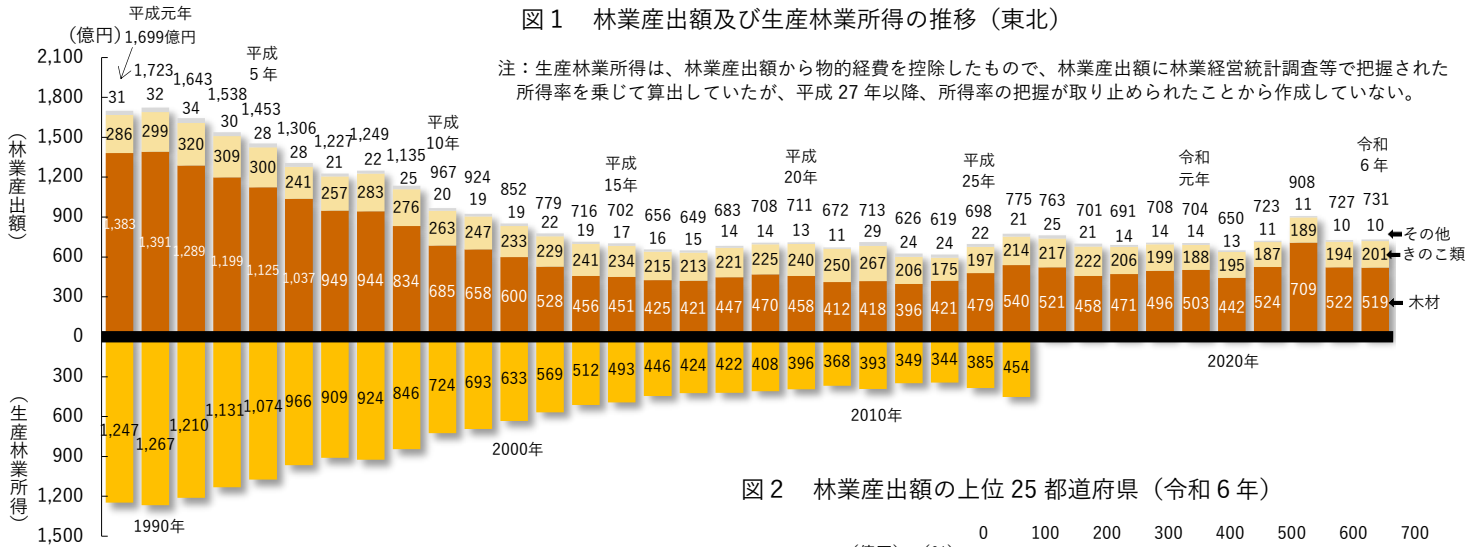
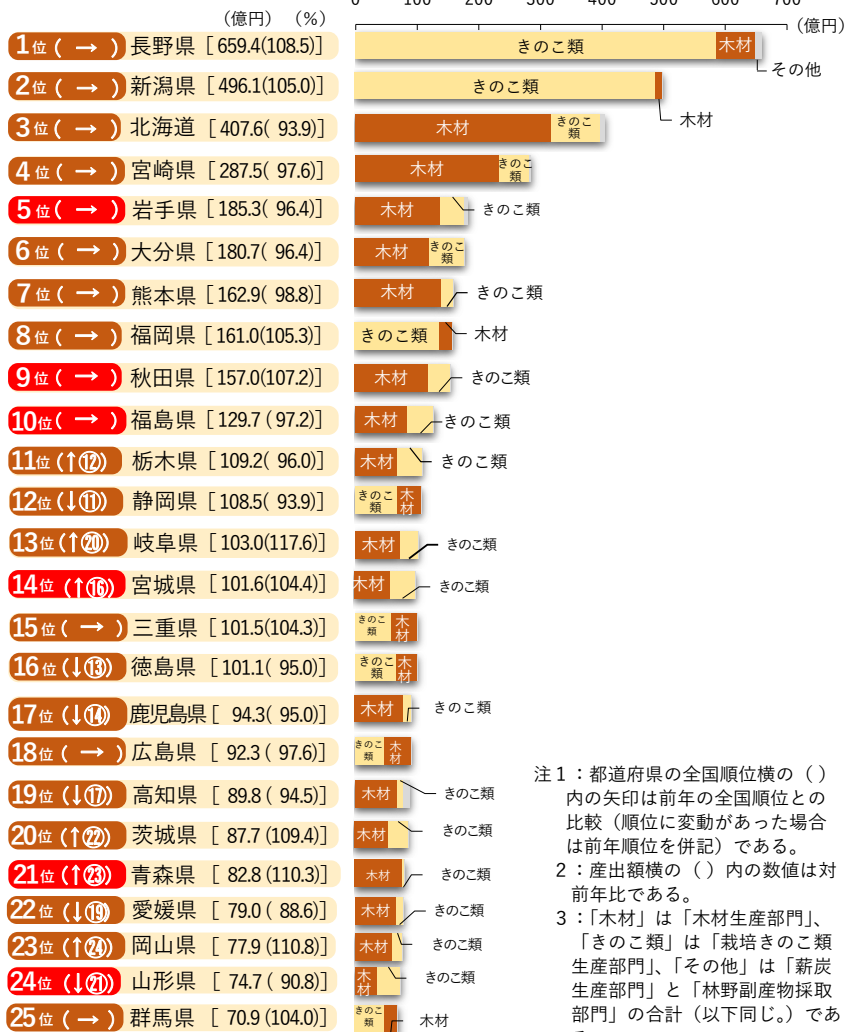


図2 林業産出額の上位25都道府県（令和6年）



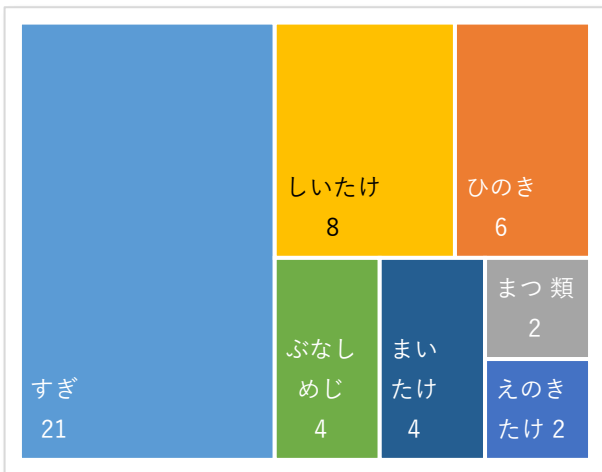
注1：都道府県の全国順位横の（）内の矢印は前年の全国順位との比較（順位に変動があった場合は前年順位を併記）である。
 2：産出額横の（）内の数値は対前年比である。
 3：「木材」は「木材生産部門」、「きのご類」は「栽培きのご類生産部門」、「その他」は「薪炭生産部門」と「林業副産物採取部門」の合計（以下同じ）である。

岩手県が全国第5位

東北各県の林業産出額（令和6年）をみると、岩手県が185億円で、東北で最も多く、全国順位は昨年と同じ第5位となっています。続いて秋田県（157億円）、福島県（130億円）も全国10位以内に入っています（図2）。

また、全国の都道府県ごとに林業産出額が一番多い品目をみると、「すぎ」が21府県で最も多く、次いで「しいたけ」、「ひのき」の順となっています（図3）。

図3 林業産出額1品目別都道府県数





東北各県の林業産出額上位10品目とその全国順位

東北各県の林業産出額上位10品目をみると、各県とも1位品目は「すぎ」になっています。

岩手県の「あかまつ・くろまつ」と山形県の「なめこ」が全国1位となっているほか、各県に全国上位の品目があり、特に岩手県については、8品目が全国5位以内に入っています（表）。

表 東北各県の林業産出額上位10品目とその全国順位（令和6年）

順位	東北		青森県		岩手県		宮城県		秋田県		山形県		福島県	
	品目	千万円	品目	千万円	品目	千万円	品目	千万円	品目	千万円	品目	千万円	品目	千万円
1	すぎ	3,791	すぎ	613	すぎ	714	すぎ	521	すぎ	1,090	すぎ	346	すぎ	507
2	しいたけ(生)	1,218	からまつ・えぞまつ・とどまつ	60	からまつ・えぞまつ・とどまつ	420	ぶなしめじ	217	しいたけ(生)	342	なめこ	211	しいたけ(生)	321
3	からまつ・えぞまつ・とどまつ	644	あかまつ・くろまつ	30	しいたけ(生)	343	しいたけ(生)	94	からまつ・えぞまつ・とどまつ	56	しいたけ(生)	99	ひのき	174
4	なめこ	377	広葉樹	28	広葉樹	132	なめこ	58	広葉樹	43	ぶなしめじ	19	なめこ	85
5	広葉樹	293	しいたけ(生)	19	あかまつ・くろまつ	120	えのきたけ	35	なめこ	11	えのきたけ	17	からまつ・えぞまつ・とどまつ	80
6	ぶなしめじ	242	林野副産物	14	しいたけ(乾燥)	47	広葉樹	27	あかまつ・くろまつ	8	からまつ・えぞまつ・とどまつ	16	広葉樹	61
7	あかまつ・くろまつ	210	なめこ	12	薪炭	32	あかまつ・くろまつ	22	ぶなしめじ	6	林野副産物	13	あかまつ・くろまつ	28
8	ひのき	181	しいたけ(乾燥)	1	林野副産物	25	からまつ・えぞまつ・とどまつ	12	林野副産物	5	まいたけ	11	エリンギ	6
9	林野副産物	69	薪炭	1	まいたけ	4	ひのき	7	まいたけ	5	広葉樹	2	林野副産物	5
10	しいたけ(乾燥)	59	まいたけ	0	ひらたけ	0	林野副産物	7	しいたけ(乾燥)	1	あかまつ・くろまつ	2	しいたけ(乾燥)	4

注：各県の枠内に記載の順位は、該当品目の全国順位である。赤字は、全国順位が5位以上の品目である。順位付けは、秘密保護上統計数値を公表していない品目を除いたものであり、原数値（万円）により判定した。林野副産物：まつたけ、野生鳥獣、樹実、野草、木ろう、生うるし等 広葉樹：ぶな、なら、きり、その他広葉樹



「林野面積1ha」、「1林業経営体」及び「1農業経営体」当たりの林業産出額

林野面積1ha当たりの木材生産部門の林業産出額をみると、宮城県が最も高く、次いで秋田県の順となっています。（図4）。

1林業経営体当たりの木材生産部門の林業産出額をみると、秋田県が最も高く、次いで青森県となっていて、各県とも1,000万円を超えています（図5）。

1農業経営体当たりの栽培きこの類生産部門の林業産出額をみると、宮城県が約4,000万円と突出して、次いで福島県となっています（図6）。

図4 林野面積1ha当たりの林業産出額（木材生産部門）
（令和6年木材生産部門産出額（千万円）／令和2年林野面積（ha））

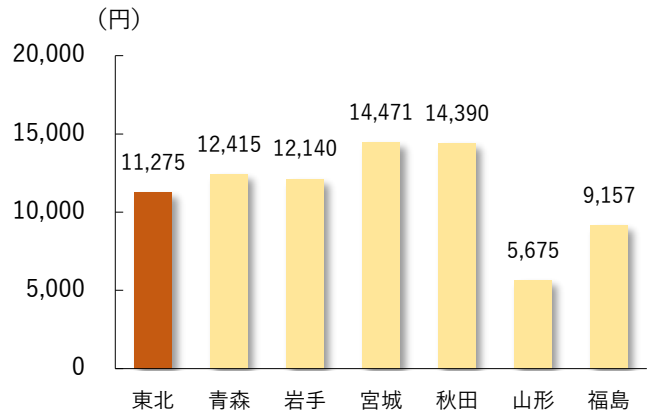


図5 1林業経営体当たりの林業産出額（木材生産部門）
（令和6年木材生産部門産出額（千万円）／令和7年林業経営体数）

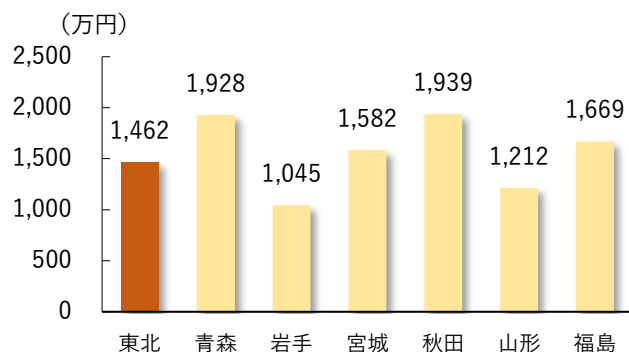
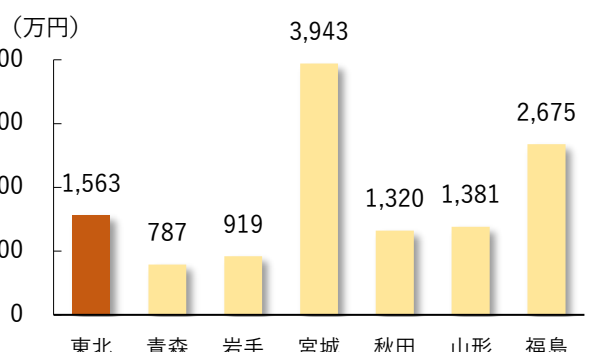


図6 1農業経営体当たりの林業産出額（栽培きこの類生産部門）
（令和6年栽培きこの類生産部門産出額（千万円）／令和2年きこの栽培を行っている農業経営体数）

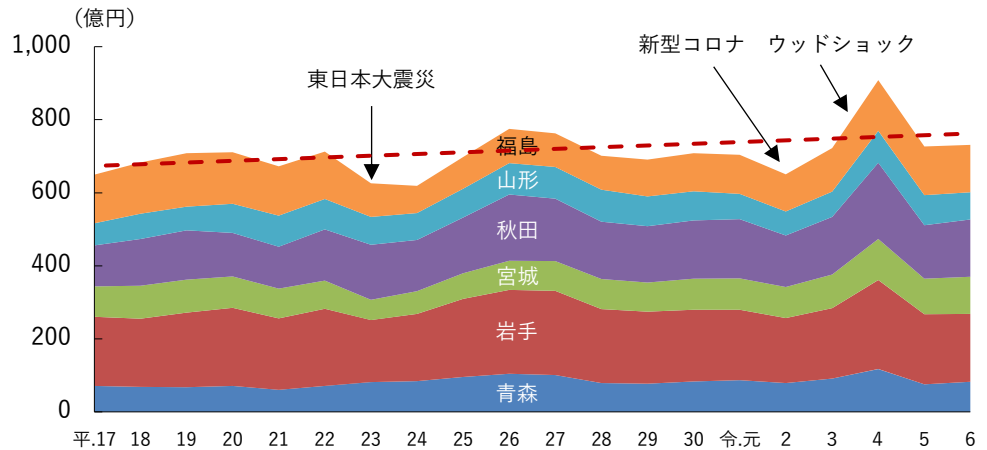


注：令和7年林業経営体数は農林業センサス概数値である。

東北6県の林業産出額の推移

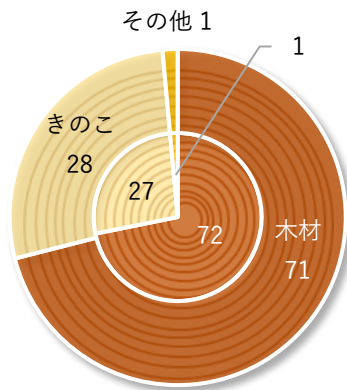
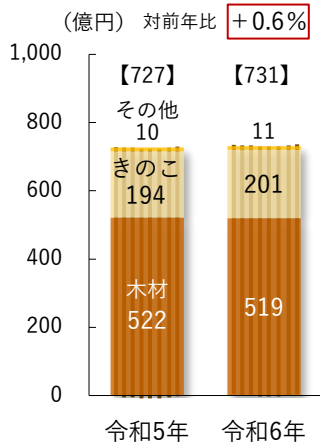
東北の林業産出額の推移をみると、東日本大震災の影響で木材生産や栽培きのこ価格が一時的に落ち込んだものの、復興需要や住宅需要回復で国産材価格が上昇し、産出額も持ち直しました。また、コロナ禍に伴う木材生産の減少、供給制約を背景としたウッドショックによる国産材需要増、人工林の利用期入りや政策支援も追い風となり、この20年は総じて増加傾向となっています。

図7 林業産出額の推移（東北）



東北合計と東北6県の動向（林業産出額と部門別割合）

東北



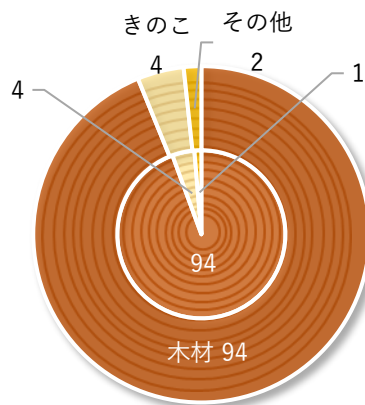
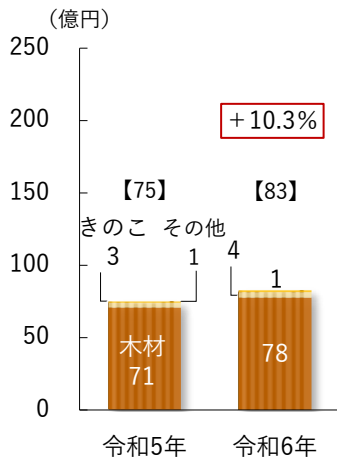
東北の林業産出額は731億1千万円で、前年に比べ4億2千万円（0.6%）増加し、前年並みとなりました。

これは、製材用素材が広葉樹の減少で減少したものの、すぎが増加したことや栽培きのこ類が増加したためです。

注：円グラフは各部門の構成割合（%）で、外円は令和6年、内円は令和5年。
林業産出額及び構成割合は表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

※【】は林業産出額計。

青森

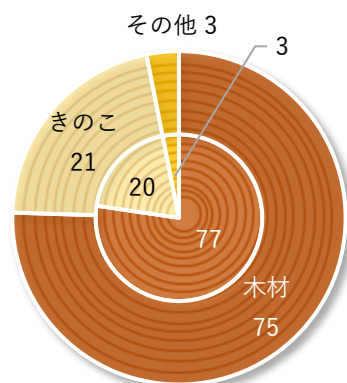
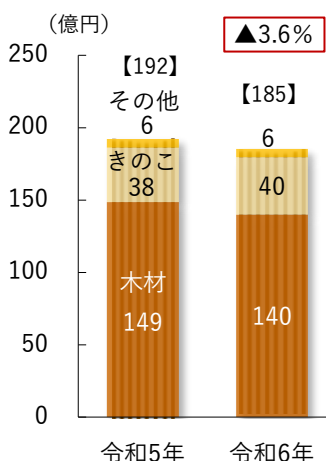


青森県の林業産出額は82億8千万円で、前年に比べ、7億7千万円（10.3%）増加しました。

これは、製材用素材生産量の増加と価格の上昇、また、栽培きのこ類の生産量の増加と価格が上昇したためです。

部門別の林業産出額割合をみると、前年と変化なく、木材生産部門の割合は東北で最も高くなっています。

岩手

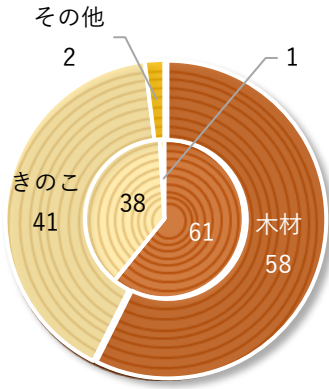
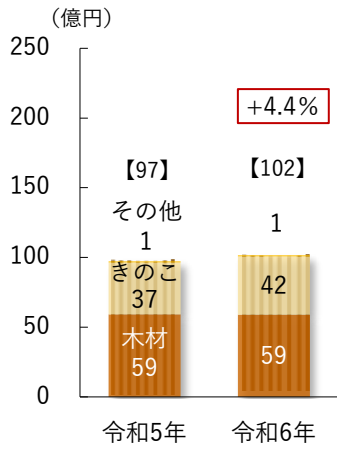


岩手県の林業産出額は185億3千万円で、前年に比べ、7千万円（3.6%）減少しました。

これは、栽培きのこ類が価格上昇で増加したものの、製材用素材生産量の減少と価格が低下したためです。

部門別の林業産出額割合をみると、木材生産部門が減少し、栽培きのこ類生産部門が増加しました。

宮城

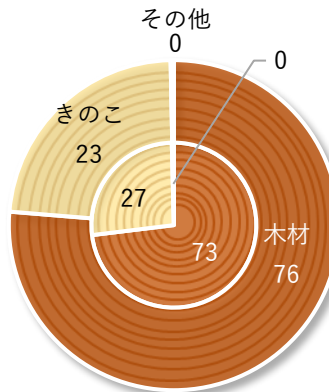
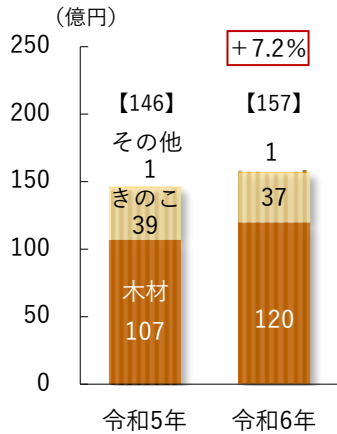


宮城県の林業産出額は 101 億 6 千万円で、前年に比べ、4 億 3 千万円 (4.4%) 増加しました。

これは、主に栽培きのこの類の生産量の増加と価格が上昇したためです。

部門別の林業産出額割合をみると、きのこ類生産部門が増加し、木材生産部門が減少しました。

秋田

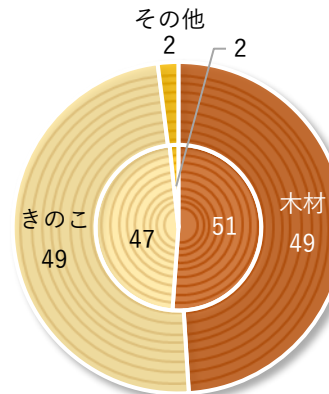
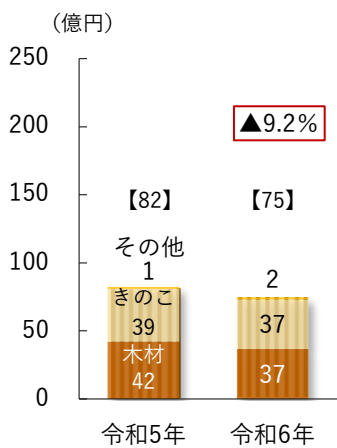


秋田県の林業産出額は 157 億円で、前年に比べ、10 億 6 千万円 (7.2%) 増加しました。

これは栽培きのこの類が生産量の減少と価格の低下で低下したものの、製材用素材生産量が増加したためです。

部門別の林業産出額割合をみると、きのこ類生産部門が減少し、木材生産部門が増加しました。

山形

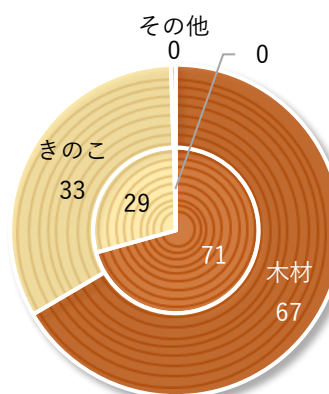
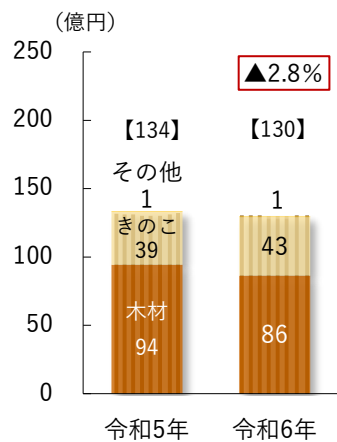


山形県の林業産出額は 74 億 7 千万円で、前年に比べ、7 億 6 千万円 (9.2%) 減少しました。

これは主に、製材用素材の価格は上昇したものの、生産量が低下したためです。

部門別の林業産出額割合をみると、木材生産部門と栽培きのこの類生産部門が同率となりました。

福島



福島県の林業産出額は 129 億 7 千万円で、前年に比べ、3 億 8 千万円 (2.8%) 減少しました。

これは栽培きのこの類の生産量の増加と価格が上昇したものの、製材用素材生産量の減少と価格が低下したためです。

部門別の林業産出額割合をみると、きのこ類生産部門が増加し、木材生産部門が減少しました。

-お問合せ- 農林水産省東北農政局統計部統計企画課 電話：022-745-9378

林業産出額の詳しい情報は、こちらからご覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/ringyou_sansyutu/index.html

